

## 令和8年度 園経営計画 足立区立梅田保育園

園長 吉田 幸子

## 1 園の経営目標

- (1) 子どもの人権を尊重し、子どもが自分は愛されているという実感をもって、自己発揮ができるように援助をする。
- (2) 子どもの豊かな感情や感性を育てるために、保育環境を整える。
- (3) 保護者との信頼関係を構築し、子育てについて相談しやすい仕組みをつくる。

## 2 園の現状

- (1) 園周辺には土手や公園が多く、季節の自然に触れたり様々な遊具で体を動かしたりして遊んでいる。園庭では、水や泥などの自然物で遊ぶ経験を大切にしている。
- (2) 食育活動では、様々な植物（小松菜・キュウリ・ナス・サツマイモ・オクラ・人参など）を育て収穫して食べることで、食の大切さを学んでいる。
- (3) 年長児は、梅若太鼓の先生から太鼓を教わり、地域のお祭りで演奏している。また、梅田図書館に定期的に行き、絵本への興味を広げ、公共の場でのマナーを守ることを経験している。

## 3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	安心した環境の中で子どもの探究心を育む。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもが主体的に関わりたくなる環境をつくる。	ア 子ども探究心を育てるために、年4回の園内研修を実施する。 イ 保育実践記録を定期的に保護者に配信し、子どもの育ちの共有や園の保育教育内容について理解を深めてもらう。
(2) 子どもと共に遊びや生活の環境をつくる。	ア 子どもの興味や関心を基に、保育の計画や振り返りを実施し、定期的に環境の再構成を行う。 イ 毎月の会議の中で、保育環境や子どもへの関わり方についての意見交換を行う。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	保護者が子育てについて相談しやすい環境をつくる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 保護者との信頼関係を構築する。	ア 担任はクラスの保護者に積極的に話しかけ、園での子ども様子や配慮している関わりについて伝えていく。 イ 年4回コドモンを使ったクラスだよりで、子どもたちの成長の様子や、遊びと生活の変化を配信していく。
(2) 保護者が子育てについて相談しやすい仕組みをつくる。	ア 保護者が対面では時間が取れない時に、コドモンでも相談できるようにする。
重点的に取り組んでいきたい事項-3	職員間のチームワークを深め、保育の質を向上する。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 職員の人権意識を高める。	ア 子どもが自分は愛されているという実感がもてるような言葉かけや関わりをする。 イ 各クラス、毎日保育の振り返りを行い、子どもへの共通理解を深め翌日の保育に活かしていく。 ウ 年4回人権に関する園内研修を実施する。